

学校だより

家庭・地域に信頼される

学校づくり

～揖斐川中学校～

「自治の姿」を誇る生徒会活動

生徒会スローガン『自治を誇る生徒会』認め合いから生み出す責任感。ACTIVE 2006を受けた9委員会が「自治の精神」、「ひたむきな姿」、「思いやりの心」を大切にしながら各活動を充実させています。

校区を流れる「揖斐川」を

大切に活動

○総合的な学習時間との関わり（揖斐川学習発表会）

総合的な学習の時

間を大きく表現活動

（『走る川』の全校合唱）と探究活動（1

年生Ⅱ揖斐川を知る、

2年生Ⅱ豊かな自然

環境をつくる、3年生Ⅱこれからの福

祉社会を生きたる）と捉え、学習の成果

を各学年が発表・交流します。

○『いびがわマラソン』大会への関わり

大会当日3年生は、ボランティアアスタフとして、1・2年生はマラソン参加者への沿道応援という全校体制で大会に参加協力しています。



○河川清掃への参加



揖斐川河川の

清掃を各地域でボランティアとして参加し、美しい揖斐川の環境保持に努めています。

P T A活動オープンスクール

いびがわ

P T Aの学級委員会が中心となって、生き方に関わる内容を企画・運営し、全校生徒と保護者が一緒になって会に参加し、勉強をします。

連携型中高一貫教育の取り組み

平成16年度スタートした西濃地区

（揖斐川町）連携型中高一貫教育の取

り組みの中で、揖斐高等学校生活環境

科の授業に本校の3年生が参加し、介

護体験など

「福祉体験

学習」を実施

しています。



「本校の特色」

～清水小学校～

戦国の知将 稲葉一徹の居城跡に建てられた本校の特色は、「一輪車を通じた仲間づくり」です。毎年、学校と地域合同で行う

「ふれあい運動会」で、4年生以上がその妙技を披露しています。ほとんどの児童が一輪車を持っており、学校にも40台ほどあり全員が一輪車の練習が出来る環境です。1年生の中にも一輪車を上手に乗れる子もおり、休み時間になると競って練習している姿が見られます。また、一輪車が苦手な子には、上級生が親切に教えている姿も見られます。



今年度も「ふ

れあい運動会」

でチームワーク

のとれた一輪車

演技を披露し、

校区のふれあ

いを益々深めたい

と思っています。



「初めての体験

中部6県で1台しかない「シートベルト着用衝突体験車」の体験を全児童が本校で行いました。郡内はもちろん、県下でも体験することが少ないシートベルト着用衝突体験車は、時速5キロメートルで衝突します。時速5キロメートルというスピードは早歩きくらいなのに衝突した時の衝撃は、子ども達にも「怖い」という感じを与えました。もし、シートベルトをつけていなかったらもっと衝撃を与えることになりました。

ビデオでは、時速50キロメートルで、シートベルトをつけている時とつけていない時の衝突実験を見ました。シートベルトをつけていないと後ろに乗っていた人が衝突の弾みで車外へ放り投げられました。車の中では、前の席も後ろの席も衝突の衝撃は同じだということ学習しました。

『今日の体験

から前の席の人

はもちろん後ろ

の人もシートベ

ルトをしつかり

とつけて車に乗

らないと、もし、

衝突したら自分

の命を縮めるこ

とになるので、車に乗るときは、絶対シートベルトをつけます。』

